

(報告) ユーザー理解活動の取組状況

2020年2月27日

公益財団法人自動車リサイクル促進センター

《目次》

1. 2019年度ユーザー理解活動の計画	・・・ P2
2. 情報の質を高める取組	・・・ P3
3. インターネットメディアでの露出を高める取組	・・・ P5
4. 全国的环境イベントでの取組	・・・ P6
5. 子どもメッセージカー返還式を開催	・・・ P7
6. 若者の関心喚起を狙ったダンス映像を公開	・・・ P9
7. ユーザー理解活動費の執行状況(第3Q)	・・・ P10



1. 2019年度ユーザー理解活動の計画

ユーザーにとって利便性が高く、コスト効率が良い手法を用いて、質の高い情報を提供する。そして、これに電子メディアを活用した取り組みを加えることで新たなターゲットにアプローチを行い、ユーザーを含む国民一人ひとりに質の高い情報を提供する。また、情報の質を高め、効果的に情報が届けられるように、ユーザーの自動車リサイクルの認知状況や関係者のニーズを把握する。

(1) 情報発信の取組

＜個別施策＞

- (1) 質を高めた情報発信
- (2) 全国地域イベントでの情報発信
- (3) 常設展示ブースを活用した情報発信
- (4) 自動車リサイクルの現場見学会開催
- (5) クルマのリサイクル作品コンクール開催
- (6) 運転免許教習生への情報提供

認知向上
理解促進

＜共通施策＞

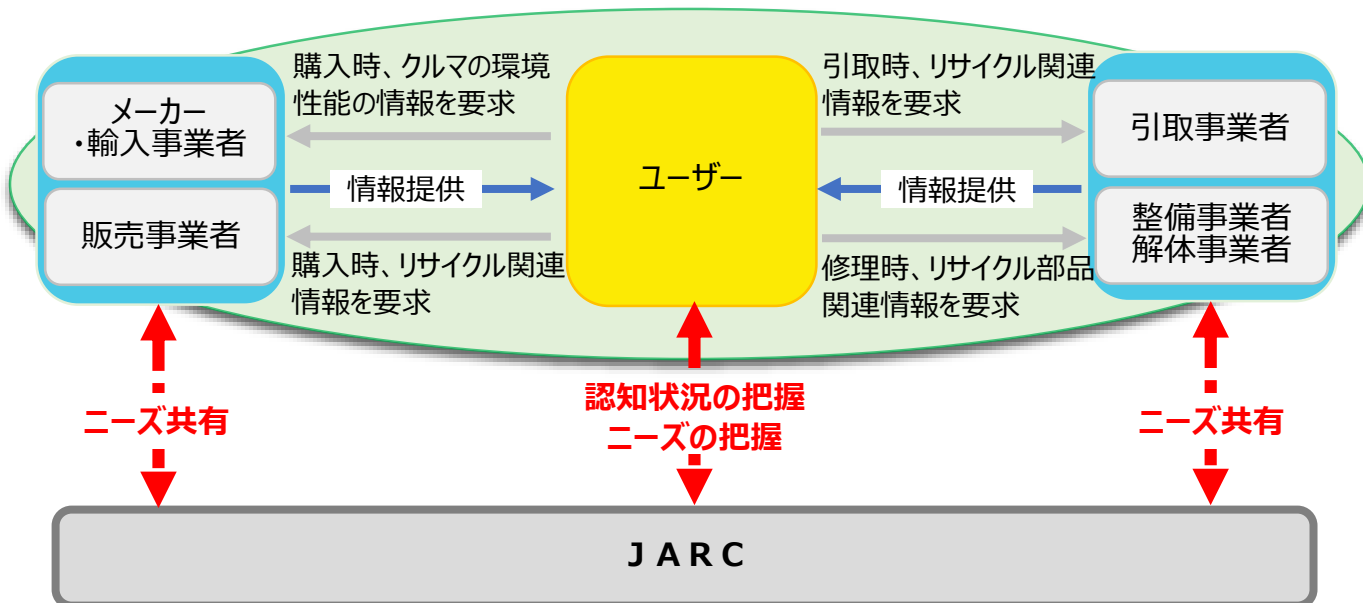
(7) メディアを活用した効果的な取組



メディアミックス*
による情報発信

*メディアミックスとは、個別施策の効果をより高めるために、新聞、テレビ、雑誌、SNSなどのメディアを組み合わせる広告活動。

(2) 情報収集の取組



2. 情報の質を高める取組

ユーザーの関心事に応じたコンテンツ創りに取り組み、これらをタイムリーに発信している。また、ユーザー向け広報ツールの英訳版をリニューアルした。

(1) ウェブサイトを通じて、タイムリーに活動状況を発信

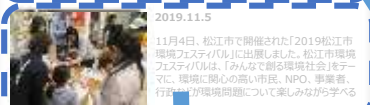


“クルマのリサイクル作品コンクール”にあたり、作品募集を案内



11月22日、熊本県熊本市にて第4回目（全4回）の自治体向け自動車リサイクル関連ステップアップ現場研修を、経済産業省、環境省、（一社）自動車再資源化協力機構とともに行いました。研修には、18名の自治体担当者が出席されました。

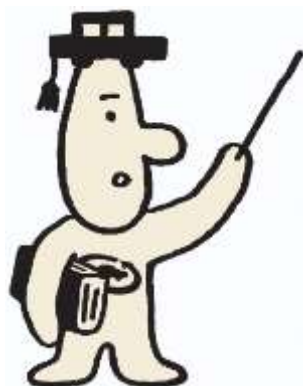
JARC取組例



11月4日、松江市で開催された「2019松江市環境フェスティバル」に出展しました。松江市環境フェスティバルは、「みんなで創る環境社会」をテーマ…（略）

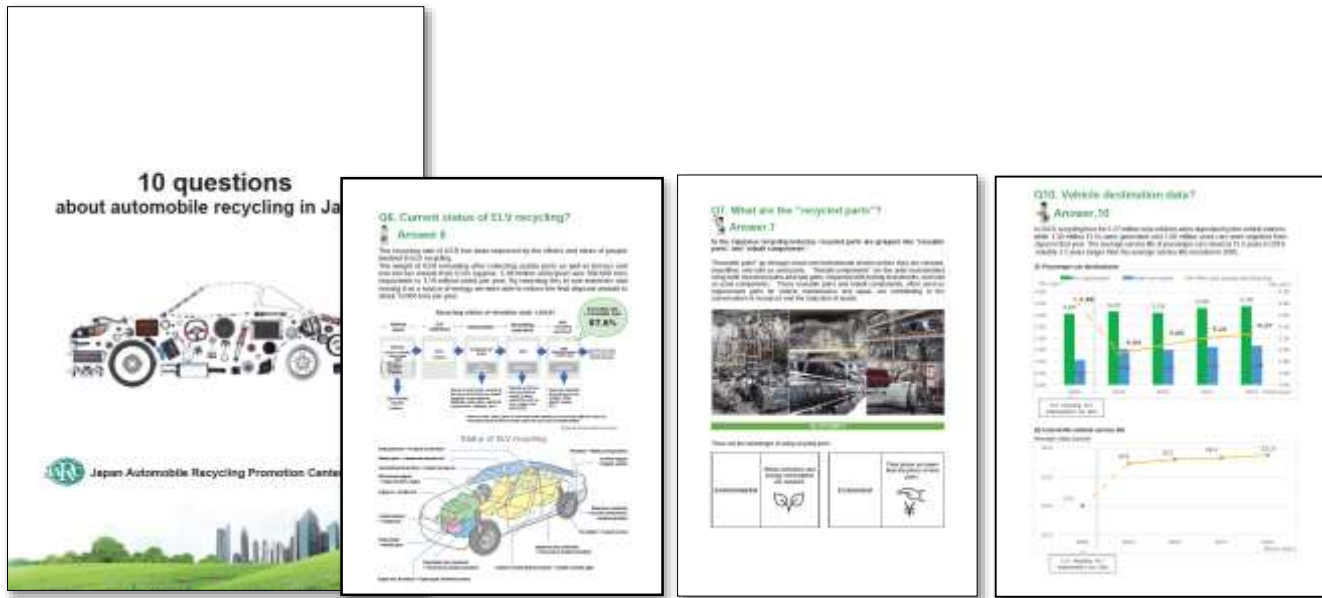


11月7日、岡山県岡山市にて第3回目（全4回）の自治体向け自動車リサイクル関連ステップアップ現場研修を、経済産業省、環境省、（一社）自動車再資源化協力機構とともに行いました。研修には、20名の自治体担当者が出席されました。



(2) ユーザー向け広報ツール（英訳版）の内容を改訂

11/8、9月開催の合同会議で示された資料を下に、ユーザー向け広報ツールの英訳版のリニューアルを行い、これを発信した。（資料は、[こちら](#)）



(3) 日経ビジネスへの企画記事による情報発信

2/14、日経ビジネス（発行：日経BP社）への企画記事を通じて、当該定期刊行物の読者層に向けて自動車リサイクル料金の管理・運用に関する情報発信を行った。（記事は、[こちら](#)）

資金運用にESG投資を取り入れ、持続可能な社会の実現に貢献

黒澤 秀雄氏
自動車リサイクル促進センター 理事長

日本の先進的な自動車リサイクルシステムにおいて、持続可能な社会を実現するための重要な役割を果たしている。自動車リサイクル料金の管理・運用に関する情報発信を行った。

JARCの財務状況とESG投資戦略

2023年度の財務状況とESG投資戦略に関する詳細なデータと分析。

ESG投資の重要性

環境、社会、ガバナンスの観点から、持続可能な社会の実現に貢献するための重要な役割を果たしている。

JARCの取り組み

自動車リサイクル料金の管理・運用に関する情報発信を行った。

3. インターネットメディアでの露出を高める取組

2019年4月から2020年1月末までにニュースリリースの配信を**合計27件**行い、インターネットメディアでの自動車リサイクルに関する情報の露出を高める取組みを行った。結果、インターネットメディアに**1,468件**の記事が掲載された。

(1) リリース情報と広告換算(参考値)

	配信日	リリース情報	掲載数 (件)	広告換算* (万円)
18 件	4月 ～ 9月末	「クルマのリサイクル」作品コンクール受賞者の表彰式を開催 平成31年度事業計画を策定 自治体向け基礎知識研修を5/10から全国9ヶ所で実施 岡山市に「新自動車リサイクルデータセンター」を開局 国内初のCBI認証付きサステナビリティボンドに投資 JICA発行のソーシャルボンドに投資 「自動車リサイクルデータBook 2018」本日公表 住宅金融支援機構発行のグリーンボンドに投資	956	27,166
19	10/18	東京都発行のグリーンボンドに投資 他10件	56	1,533
20	10/24	「環境フェスティバルふくおか2019」に初出展	52	1,500
21	11/1	「2019松江市環境フェスティバル」に出展	52	1,500
22	11/1	第3回「クルマのリサイクル」作品コンクール開催	53	1,503
23	11/7	第1回「岐阜市エコフェスタ」に初出展	53	1,503
24	11/20	「エコライフステージ2019」(北九州市) に初出展	49	1,342
25	11/25	「エコプロ2019」に出展	58	1,728
26	11/29	「京都環境フェスティバル2019」に出展	54	1,595
27	1/10	AKB岩立沙穂さん、黄帝心仙人さん の くくるリサイクル ダンス動画を公開	85	4,478
合 計			1,468	39,421

*メディアに記事掲載された際の露出効果を、同じ枠を広告として購入した場合の広告費に換算したもの

(2) 掲載メディア例

毎日新聞、朝日新聞、四国新聞、京都新聞、奈良新聞、山形新聞、福井新聞、沖縄タイムスプラス、紀伊民報、千葉日報、宮崎日日新聞、新潟日報、茨城新聞、徳島新聞、福島民友、紀伊民報、山梨日日新聞、河北新報、上毛新聞、秋田魁新報、下野新聞、週刊女性PRIME、AFP BBNews、楽天NEWS、Google ニュース、Impress Watch Headline、excite ニュース、J-CAST ニュース、CNET Japan、他

4. 全国環境イベントでの取組

全国15か所(前年度11か所)で開催された環境イベントにキャラバンしながら出展し、循環型社会に向けた自動車リサイクルの取組についての理解活動に取り組んだ。そして、来場者から**合計15,451件(昨年度10,803件)**のアンケートを回収した。また、出展に際しては、地域メディアや自治体と連携しながら情報発信に取り組んだ。

(1) 環境イベントへの出展計画と認知に関するアンケート結果

	開催地	名称	開催月	規模感 (万人)	認知度*		Map
					18年度	19年度	
①	横浜	かながわエコ10フェスタ	5月	14.0	71%	70%	
②	水戸	水戸市環境フェア	6月	1.3	-	68%	
③	広島	「環境の日」広島大会	6月	0.4	-	69%	
④	札幌	環境広場さっぽろ	8月	2.6	68%	69%	
⑤	金沢	いしかわ環境フェア	8月	2.6	68%	67%	
⑥	秋田	あきたエコ&リサイクルフェスティバル	9月	2.0	70%	72%	
⑦	仙台	エコフェスタ仙台	9月	1.0	70%	75%	
⑧	名古屋	環境デーなごや	9月	11.0	74%	80%	
⑨	姫路	ひめじ環境フェスティバル	9月	1.4	-	63%	
⑩	福岡	環境フェスティバルふくおか	10月	4.0	-	65%	
⑪	松江	松江環境フェスティバル	11月	1.0	71%	65%	
⑫	岐阜	岐阜市エコフェスタ	11月	1.0	-	65%	
⑬	北九州	エコライフステージ	11月	15.0	-	66%	
⑭	京都	京都環境フェスティバル	12月	2.8	71%	72%	
⑮	東京	エコポロ	12月	16.0	79%	75%	

*自動車リサイクル制度について、「どんな仕組みか概要を知っている」「名前を聞いたことがある程度」を選択した回答者の割合

(2) 取組状況

⑫ 岐阜市イベント

- 日程：11/10(日)
- 会場：ぎふメディアコスモス(晴れ)
- 来場者：約0.7人
- アンケート回収数：487件
内自動車リサー：376件(77%)
- 認知状況：65%



⑬ 北九州市イベント

- 日程：11/23(土),24(日)
- 会場：リバーウォーク北九州(晴れ)
- 来場者：約15.6万人
- アンケート回収数：1,037件
内自動車1-ガー：689件(66%)
- 認知状況：66%



⑭ 京都市イベント

- 日程：12/7(土),8(日)
- 会場：京都パルスプラザ(くもり)
- 来場者：約2万人
- アンケート回収数：1,079件
内自動車1-ガー：790件(73%)
- 認知状況：72%



⑮ 東京イベント (エコプロ2019)

- 日程：12/5(木),6(金),7(土)
- 会場：東京ビックサイト(くもり)
- 来場者：約15.6万人
- アンケート回収数：3,516件
内自動車1-ガー：2,049件(58%)
- 認知状況：75%
- 取材映像は次のURLを参照ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=2mnhV2x1aR4>



5. 子どもメッセージカー返還式を開催

2020年1月17日、「エコプロ2019」の体験学習の場で子どもたちの思いが綴られた「メッセージカー」の返還式を行った。そして、当該式典で得られたコンテンツを利用して、ユーザーの関心を得るための情報発信を行った。

(1) 開催概要

日時：2020年1月17日（金）15時

場所：京葉自動車工業株式会社更科工場（千葉市若葉区）

趣旨：メッセージカーには、将来の地球環境、資源循環、リサイクルの大切さをつづった内容や、これまで一生懸命に頑張ってきたクルマへの感謝の気持ちなど、全てのメッセージに子どもたちの思いが詰まったメッセージが綴られている。
当該式典は、お借りした自動車を京葉自動車工業株式会社に返還するとともに、子どもたちから頂いた大切なメッセージを届けるイベントである。

(2) 式典状況



1,500を超えるメッセージ



式典には、JARC専務理事の阿部知和、そして京葉自動車工業株式会社代表取締役社長の酒井康雄様、取締役副社長の酒井悠介様、取締役専務の酒井徹也様にご列席いただいた。

6. 若者の関心喚起を狙ったダンス動画を公開

2020年1月、新たに自動車リサイクルに関するダンス動画を制作。これを全国運転免許教習所などで配信し、若年の自動車リサイクルについての関心を得る取り組みを行っている。

(1) 目的

2012年、義務教育化され、若者に圧倒的な人気を誇るダンスを使って、自動車リサイクルへの関心喚起を目的とする。

(2) 対象

運転免許教習所に通う若者

＊運転免許教習所、JARCの公式Youtubeなどで動画配信中

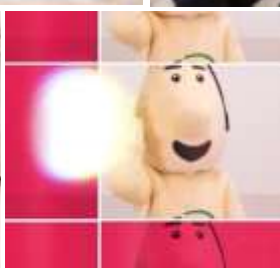
(3) 訴求点

- ・循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルの取り組み
- ・自動車購入時のリサイクル料金支払い
- ・リサイクル料金の使途 等

(4) 制作動画

ダンス動画を見るだけで **自動車リサイクル** が丸分かり！

自動車リサイクル博士 が **ダンサー** 達と **くるくる** ダンスを踊る！



<https://www.jarc.or.jp/trend/6283/>

AKB48 岩立沙穂さん

7. 活動費の執行状況（第3Q）

2019年4月から12月末（～第3Q）の期間で、ユーザー理解活動に要した費用は、15,860万円（執行率：84.9%）であった。
 なお、この理解活動費は、特預金と繰越金から負担される。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

（単位：万円）

#	取組の方向性	施策例	年度 計画額	第1Q～第3Q		
				計画額 ①	決算額 ②	執行率 ②/①
1	全国万遍なく、環境関連イベントに出展し、自動車リサイクルの取組・成果の認知向上の機会を創出する	●全国環境イベントでの情報提供の取組 ●地域メディアと連携した情報拡散の取組 ●新聞折込チラシの展開	3,200	2,610	2,338	89.6%
2	若年層に向けた情報発信を強化する	●小学生とその保護者を対象とした取組 ●自治体と連携した情報拡散の取組 ●運転免許教習生に対する取組	6,100	3,695	3,596	97.3%
3	各種メディアを活用して露出を高める取組を行う	●メディアミックスによる効果的な取組	13,000	10,825	8,965	82.8%
		●ニュースリリースの積極的配信 ●その他のパブリシティ活動	0	0	0	-
4	身近なところから、ユーザー視点で分かりやすい情報へと改善を行う	●ウェブページを活用した情報発信と改善 ●広報ツールの制作（チラシ・ポスター等） ●常設展示物の制作	2,770	1,288	798	61.9%
5	自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握する	●ユーザーの認知状況の把握 ●各種ユーザーニーズの把握	330	160	76	47.6%
6	広報・PRの専門家を助言や支援を受けながら、質の高い情報を、効果的に発信する	●効果的な取組の実務支援 ●リスク低減の観点での支援 ●情報発信の効果検証 他	800	100	88	88.0%
合 計			26,200	18,678	15,860	84.9%

*合計額には、人件費・管理費等を含まない

<https://www.jarc.or.jp/>